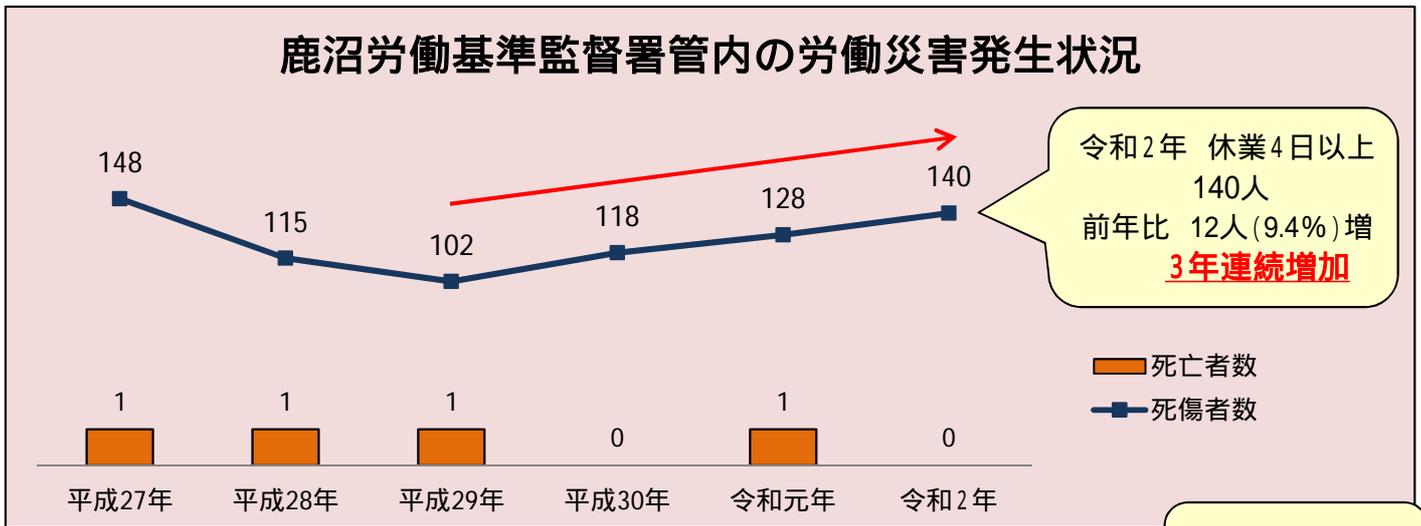


災害急増！ 基本的対策の徹底を！！

～ 3年連続増加！ 極めて憂慮される状況！ ～

鹿沼労働基準監督署内における休業4日以上の労働災害は、平成30年から令和2年にかけて3年連続で増加し、令和3年においても、5月末現在で前年同期より倍増の87人と**極めて憂慮**される状況です。事故の型で見ますと、「**墜落・転落**」(73%増)及び「**激突**」(175%増)が令和2年に大幅に増加し、令和3年も多発しています。また、「**転倒**」が業種・年齢を問わず、依然として最も多く発生しており、災害全体のおよそ2割を占め、令和3年においては15人と前年同期より4人増加(36%増)し、うち9人は骨折等の重傷に至っています。災害の多くは、いわゆる在来型で、基本的な労働災害防止対策さえ講じていれば防ぐことのできたものです。今一度原点に立ち戻り、経営トップの強いリーダーシップの下、「**Under100推進プロジェクト2021**」及び「**Aない声かけ運動**」に全員参加で取り組んでいただき、労働災害防止対策の徹底をお願いします。

鹿沼労働基準監督署管内の労働災害発生状況

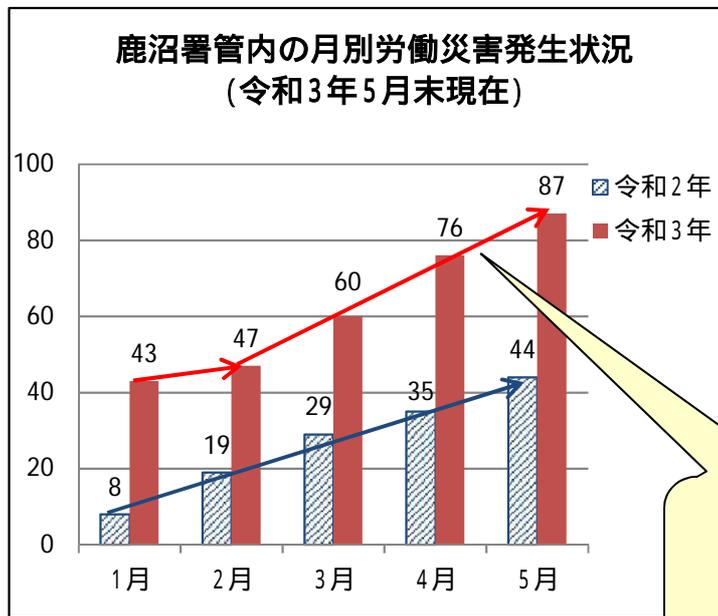


令和2年 休業4日以上
140人
前年比 12人(9.4%)増
3年連続増加

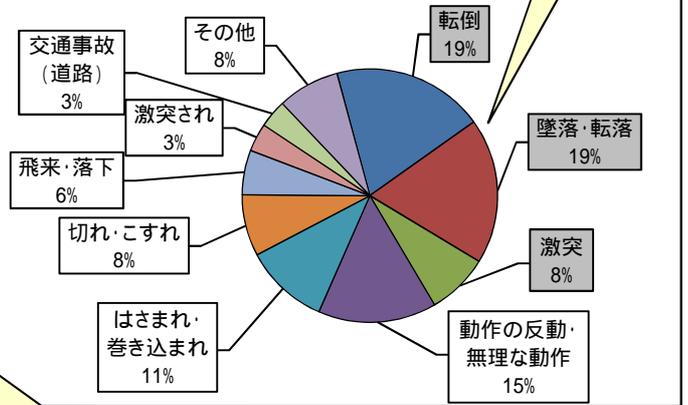
出典：労働者死傷病報告(休業4日以上)

「転倒」「墜落・転落」「激突」の合計で災害約半数を占める。

鹿沼署管内の月別労働災害発生状況 (令和3年5月末現在)



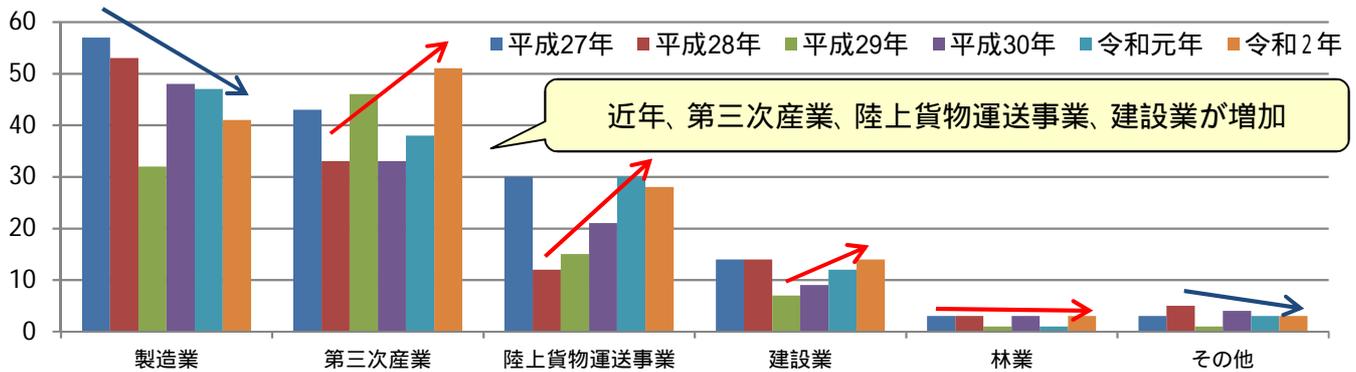
令和2年 事故の型別労働災害発生状況



令和3年5月末現在 休業4日以上 87人
前年同期比 + 43人(98%)
前年を上回る増加率！
6月以降も増加の懸念！

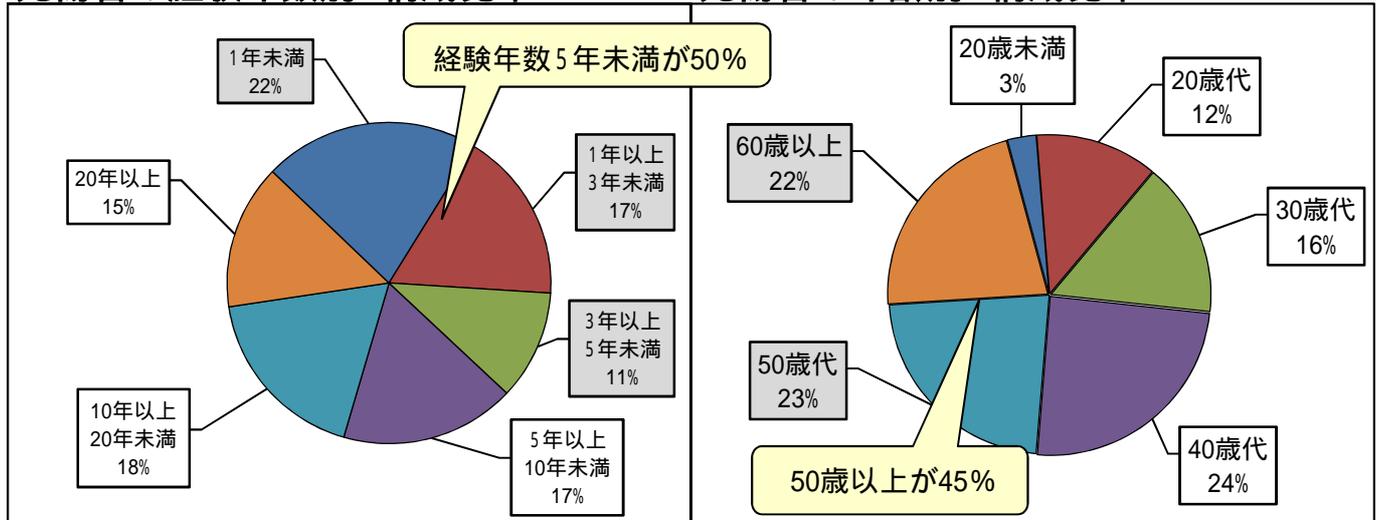
出典：労働者死傷病報告(休業4日以上)

鹿沼労働基準監督署管内における 業種別 年別 労働災害発生状況



死傷者の経験年数別 構成比率

死傷者の年齢別 構成比率



上記3つのグラフは、平成27年1月から令和2年12月までの労働者死傷病報告より集計したもの。

Under100推進プロジェクト2021

～新しい働き方スタイル・新しい労働災害防止対策の推進～

趣旨：新型コロナウイルス感染症予防及び新しい働き方（新しき生活様式）に対応した職場における労働者の健康確保対策を推進しつつ、未熟練労働者や高齢労働者を中心とする在来型（「転倒」「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」等）の災害防止対策を強化し、鹿沼市内における休業4日以上の労働災害100人未満を目指すことにより、安全衛生水準の向上を図る。

実施期間：令和3年4月1日～令和3年12月1日

Aない声かけ運動

正式名称：STOP!「あわてる・あせる・あなどる」行動・声かけ100日運動
～あせらず あわてず あなどらず～

趣旨：事業者、安全担当者、同僚ほか取引先など産業現場で働く全員が声をかけ合って、「あ（A）わてる」「あ（A）せる」「あ（A）などる」などの「あ（A）ぶない行動」を「しない・させない」ための取組を推進し、労働者一人ひとりの安全行動の自覚と徹底を促すことにより、栃木県内における労働災害の撲滅を目指す。

実施期間：令和3年5月24日～令和3年8月31日（100日間）

栃木労働局HPへ

